

第2回会議資料の訂正について

第2回西市民病院（市街地西部の中核病院）のあり方検討に係る有識者会議（令和2年10月30日）の資料4「市街地西部において求められる医療機能及び中核病院の役割」を別添のとおり訂正いたします。

【訂正ページ】

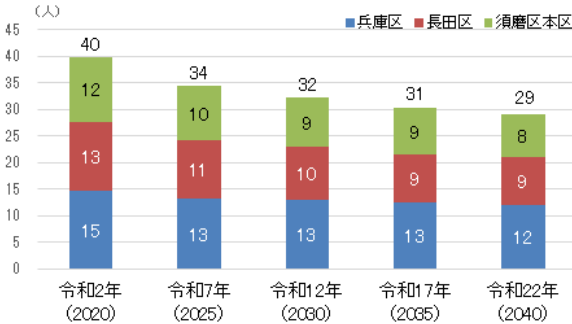
- ・27 ページ 小児医療 市街地西部における将来需要予測
- ・33 ページ 周産期医療 市街地西部における将来需要予測

(1) 27 ページ 小児医療 市街地西部における将来需要予測

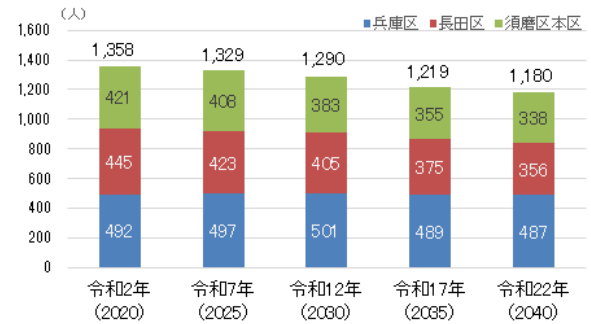
【誤】

- 小児の患者数は減少傾向にあり、令和22年(2040年)には令和2年(2020年)比で、入院は27.5%減、外来は13.1%減と予測されるが、医師数は平成28年をピークに減少しており、安定的に医療を提供する体制が必要である。

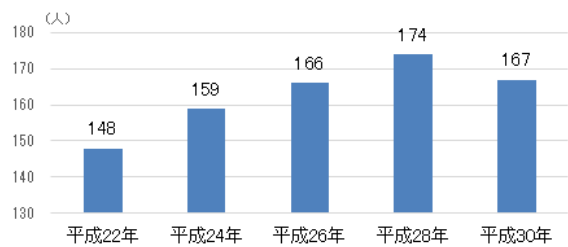
小児医療 入院患者数推計



小児医療 外来患者数推計



主たる診療科を小児科とする病院に勤務する医師数の推移(神戸市)



※患者数推計に新型コロナウイルス感染症の影響は加味されていない。
西市民病院の令和2年4~8月の小児科患者数は、前年同期比で入院38.9%減、外来36.0%減となっている。

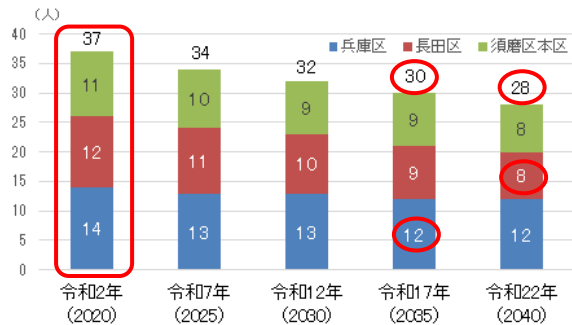
出典：令和2年3月 神戸市地域医療需要等調査
厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査」

27

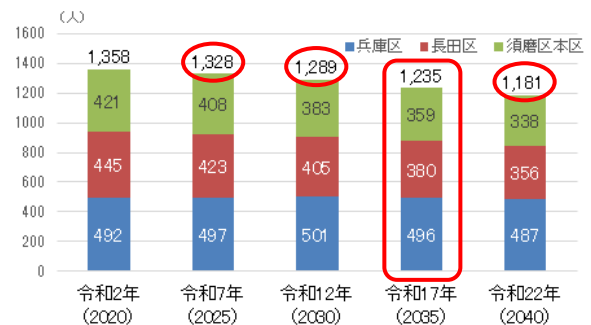
【正】

- 小児の患者数は減少傾向にあり、令和22年(2040年)には令和2年(2020年)比で、入院は24.3%減、外来は13.0%減と予測されるが、医師数は平成28年をピークに減少しており、安定的に医療を提供する体制が必要である。

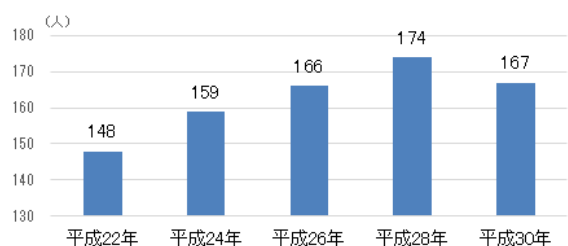
小児医療 入院患者数推計



小児医療 外来患者数推計



主たる診療科を小児科とする病院に勤務する医師数の推移(神戸市)



※患者数推計に新型コロナウイルス感染症の影響は加味されていない。
西市民病院の令和2年4~8月の小児科患者数は、前年同期比で入院38.9%減、外来36.0%減となっている。

出典：令和2年3月 神戸市地域医療需要等調査
厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査」

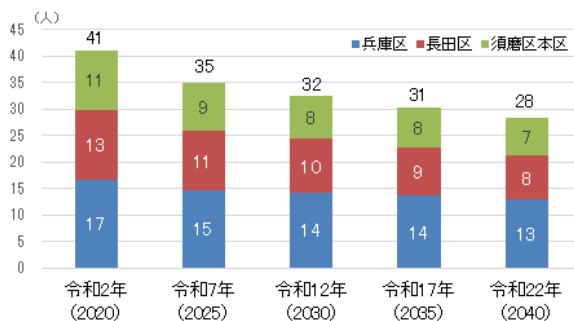
27

(2) 33 ページ 周産期医療 市街地西部における将来需要予測

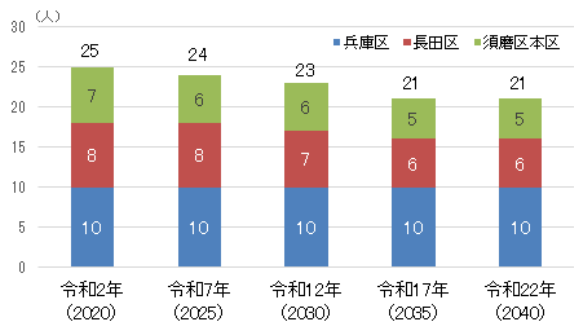
【誤】

- 周産期の患者数は減少傾向にあり、令和22年(2040年)には令和2年(2020年)比で、入院は31.7%減、外来は16%減と予測されるが、医師数は平成28年をピークに減少しており、安定的に医療を提供する体制が必要である。

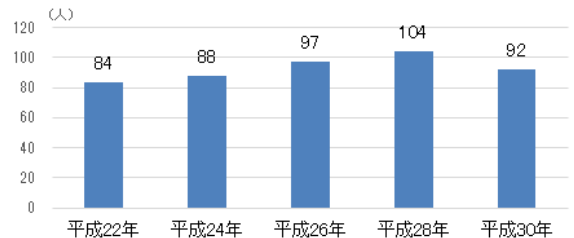
周産期医療 入院患者数推計



周産期医療 外来患者数推計



主たる診療科を産婦人科・産科とする病院に勤務する医師数の推移



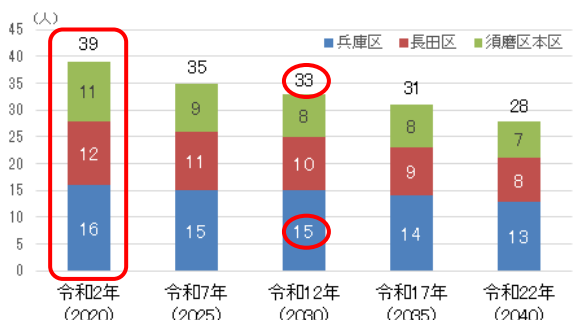
※患者数推計に新型コロナウイルス感染症の影響は加味されていない。
西市民病院の令和2年4~8月の産婦人科患者数は、前年同期比で入院17.6%減、外来11.9%減となっている。

出典：令和2年3月 神戸市地域医療需要等調査
厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査」

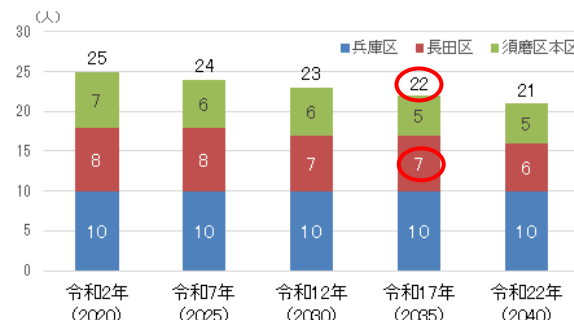
【正】

- 周産期の患者数は減少傾向にあり、令和22年(2040年)には令和2年(2020年)比で、入院は28.2%減、外来は16%減と予測されるが、医師数は平成28年をピークに減少しており、安定的に医療を提供する体制が必要である。

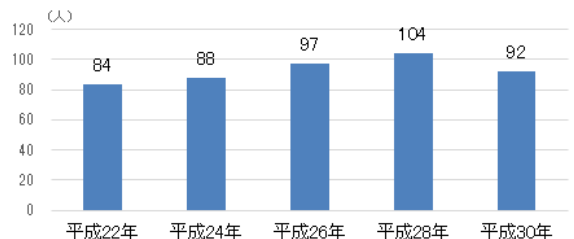
周産期医療 入院患者数推計



周産期医療 外来患者数推計



主たる診療科を産婦人科・産科とする病院に勤務する医師数の推移



※患者数推計に新型コロナウイルス感染症の影響は加味されていない。
西市民病院の令和2年4~8月の産婦人科患者数は、前年同期比で入院17.6%減、外来11.9%減となっている。

出典：令和2年3月 神戸市地域医療需要等調査
厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査」